



“大きな遺産” ～次代につなぐ

中央区政協会
会長 飯野 修芳

私たちの団体は、平成13年10月21日に誕生。「会員相互の交流の促進と教養の向上を図るとともに、相互扶助の醸成に努める」と、その目的を掲げました。

また、区政の円滑な運営のために協力し、中央区の発展に寄与することを目指して、総会、懇親会を年2回、見学会、法人部会、研修会、中央区に協力して、新年互礼会、そして社会を明るくする運動、区民まつり、区民のつどいなどへの協力や、年末夜警激励、市民利用のコピー機設置事業などを進めてまいりました。

会員数は現在、個人が226人、法人会員が41社。地域と法人の連携も良く、多様なテーマに取り組みを進めてまいりました。

中央区は、この間の社会情勢の変化に伴って、住民の高齢化、少子化問題、都市環境保全、防災および安心安全の対策など、いままでにはなかった新たな課題に直面しながらも、歴史、文化、商業、まちのにぎわいづくりに貢献。この大阪で重要な役割を演じてきたところです。この多くの人たちが“つないできた大きな遺産”を、私たちは次の時代に“つなぐ”大切な役割を担っています。

中央区制30周年を大きな節目ととらえて、共に気持ちをひとつにして、人と人がふれあい、互いに手をとりあって“ぬくもりのあるまちづくり”をするために、一層がんばってまいりたいと考えています。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。